

日本大学経済学部産業経営研究所 公開月例研究会

平成29年度統一テーマ

「社会構造の変化と産業経営」

講演テーマ

「ガバナンス改革による 企業と機関投資家の行動変化を どのように捉えるか」

青山学院大学 大学院 国際マネジメント研究科
教授 北川 哲雄 氏

■推薦者の言葉■

アベノミクス成長戦略の中核的な施策として、2014年2月に公表された「スチュワードシップ・コード」および2015年6月に公表された「コーポレートガバナンス・コード」は、日本企業の「稼ぐ力」を回復するための「車の両輪」に例えられる。両コードは、企業と株主・投資家との緊張と協調を伴う対話の推進を基軸とするものであり、その実践を通じて企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のための自律的な対応が図られることが期待されている。

北川教授は、いま大きな注目を集めているCSR(企業の社会的責任)、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資、IR(投資家向け広報)戦略、統合報告等に最も精通された日本を代表する研究者であり、近著には、『スチュワードシップとコーポレートガバナンス—2つのコードが変える日本の企業・経済・社会—』(編著、東洋経済新報社、2015年)、『ガバナンス革命の新たなロードマップ—2つのコードの高度化による企業価値向上の実現—』(編著、東洋経済新報社、2017年)等がある。

日本のコーポレートガバナンス改革をめぐるご講演テーマの解題に最も相応しい研究者であり、他方では、日経アニュアルリポートアワードの審査委員長を務められる等、多方面で現在ご活躍の北川教授をここに推薦させて頂きたい。

日時:11月27日(月) 18:00~19:30

会場:日本大学経済学部 7号館9階 7091教室

対象:一般・学生 ※聴講は無料です。